

子どもの居場所が地域にあるまち 「はちおうじ子ども食堂」オープン

「はちおうじ子ども食堂」は、「食」を通し、地域の子どもの居場所を提供したいと、創価大学の学生が主体となり始めました。創価大学の^{だいごく}大極正美さん、市民の立場で支援している工藤裕子さんからお話を伺いました。



子ども食堂を始めるきっかけをつくった創価大学4年の大極正美さん。当分八王子を離れられないですと楽しそうに話す

はちおうじ子ども食堂オープン

「はちおうじ子ども食堂」が、今年2月から月に1回、アマダステーション(延立寺別院・東町3-4)でオープンしました。創価大学の学生が中心となり、地域の団体や個人を巻き込み運営されています。

子どもの居場所づくりに取り組む学生



野球部の中学生3人組、カレーの匂いに誘われて来店。

活動の中心となる学生は、神奈川県でホームレスの見守りをライフワークとしている、創価大学の碓井健寛先生

のゼミやサークルに在籍する一部の学生たち。先生の影響を受けた学生は、以前から「NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」の子ども食堂や、横浜での生活保護受給家庭の子どもたちの支援活動などに関わってきました。こうした経験は食堂の運営に活かされています。「一緒に食事をすると、子どもたちはリラックスし、自分のタイミングで悩みを打ち明けて



大学生のお兄ちゃん相手に、食べることも遊びに夢中

出会った子どもたちの様子について、大極さんは話してくれました。食を通じた支援の大切さが伝わります。

連携から実現へ

子ども食堂は、オープン時から会場、備品、食材、調理技術など、活動に賛同した多くの方や団体から支援を受けていますが、最初は周囲からの厳しい声もありました。「やる気が無いなら、手伝わない」「そんな態度なら、誰も助けてくれない」と、言われたこともありましたが大極さんたち学生は、その度に反省したり、気持ちを切り替えてきました。

貧困問題に関心があった工藤さんも支援者の一人。学生と一緒に食堂に開き、ワクワクしているそうです。八王子産の食材を中心に、季節の野菜を活かした献立を心がけ、調理や衛生面において学生を支えています。工藤さん



工藤裕子さんは、調理長として当初から参加。献立から、調理指導、衛生管理まで、丁寧に学生を指導



子ども食堂の風景

んのように食堂に関心を持つ支援者と、食堂を実現させたという学生がつながることで、子ども食堂はオープンしました。将来的には、民生委員や行政なども連携しながら、地域で子どもたちの見守りができる、モデルケースとなることを目指しています。将来を見据えた活動は、大学コンソーシアム八王子の学生企画事業補助金に採択されるなど、地域や行政からも注目されています。

「子ども食堂」とは

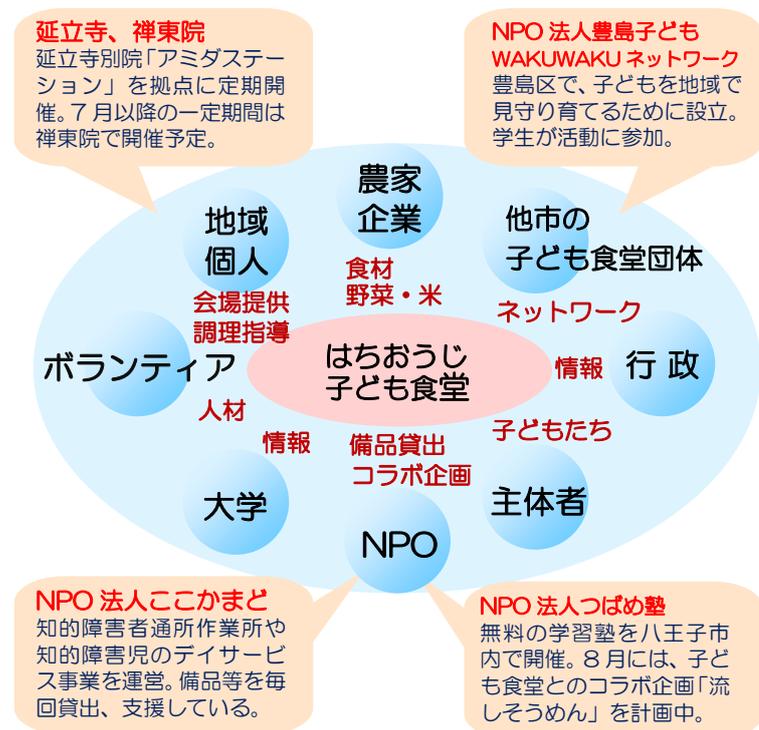
子どもたちの貧困や生活の多様化から、家庭や地域の中で孤立する子どもたちを、「食」の面から地域で支えようと始まった取り組みです。「子ども食堂」の名付け親は、「気まぐれ八百屋だんだん」(大田区)の店主近藤博子さん。統一した組織ではなく、それぞれは地域性や現状に合わせ、活動しています。NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークが「子ども食堂サミット」を開催するなど、活動は全国に広がりつつあります。

- ★今後の予定
 - ・子ども食堂
 - 7/4(土)14:00~20:00
 - 会場：子安市民センター
 - ・流しそつめん
 - つばめ塾「無料学習塾」とコラボ企画
 - 8/23(日) 昼ごろ予定
 - 会場：禅東院
- ★寄付のお願い
 - 名義：はちおうじ子ども食堂
 - ゆうちょ銀行振替
 - (記)10040 (番)20461191
 - 他行からゆうちょへの振込み
 - 店名008 普通
 - (番)2046119
- ★問合せ先
 - 5domo.hatioji@gmail.com

「はちおうじ子ども食堂」から学ぶ連携のコツ

「はちおうじ子ども食堂」は、いろいろな団体や個人と連携することによって、活動を実現させました。子ども食堂の活動を参考に、連携について考えます。

★「はちおうじ子ども食堂」と地域の関係



なぜうまくいっているのか、連携のコツを分析

- ミッションが明確で、外に広く発信をしている → ミッションに共感し、活動に理解を得やすい
- 自分たちで全てを抱え込まず、不足していることや必要なことを発信している → どういうことで協力できるのか、明確に伝わる
- 自分たちが主体となり責任を持って活動を進めている → 連携するためには、自分の活動に責任を持ち、対等な立場で行うことが大切
- 同じ分野の団体と一緒に活動し、つながりや信頼関係をつくっている → 共に活動することで、相乗効果を発揮し、社会の課題解決につながる
- 謙虚にアドバイスを受ける姿勢がある → 自然と周りを巻き込むことができる

お知らせ

八王子市民活動フェスティバル2015

見る、作る、食べる、探す



日時：7月12日(日)10:00～16:00

会場：NPO さぼーと 802

(八王子市市民活動支援センター)

今年のテーマは「見る、作る、食べる、探す NPO との出会いの場 NPO マルシェ」です。八王子にはたくさんの NPO があります。こんな活動をしているんだよ！と、市民の方にもっともっと知っていただきたいくて、「マルシェ（市場）」と名付けました。パンや野菜の販売、お手玉や工作の体験、紙芝居などのパフォーマンス、そして展示による NPO の活動紹介など、子どもから大人の方まで楽しめるさまざまなプログラムで皆さんをお迎えします！

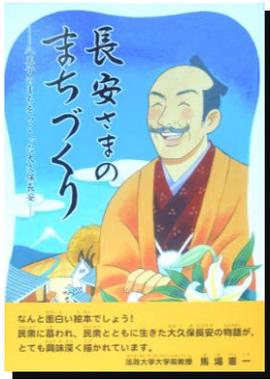
IT講座 NPO × Facebook

～ネットの効果的な使い方～

最近、Facebook でグループページを作り、団体の情報を発信したり、会員同士の情報交換をしたり、イベントページで集客をしたりと、NPO による Facebook の活用事例が増えてきています。講座では NPO が SNS を使って情報公開をする意味、方法などの概論のほか、実際にパソコンを使って、Facebook ページを作り、セキュリティにも配慮した運営方法を学びます。



- ◆日 時：8月19日(水)10:30～17:00
- ◆場 所：NPO さぼーと 802 (八王子市市民活動支援センター)
- ◆対 象：NPO に所属している方で、個人で Facebook の ID を持っている方、Word など簡単な文書作成ができる方、パソコンでメール操作ができる方
- ◆講 師：NPO 法人エンツリー 理事長 吉田恭子さん (株)情報試作室 代表取締役 相良恵子さん
- ◆参加費：1,000 円
- ◆定 員：15 名 (申込先着順)
- ◆問合せ先：NPO さぼーと 802 (八王子市市民活動支援センター) TEL042-646-1577 FAX042-646-1587 メール/npo802@shiencenter-hachioji.org



長安さまのまちづくり

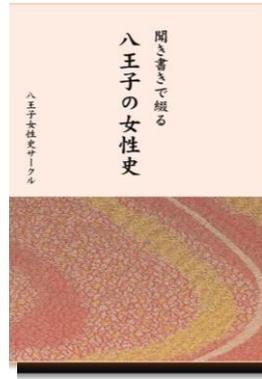
八王子のまちをつつた大久保長安
文・吉田美江 画・長野美穂

～とんとんむかし、ずーっと
むかし八王子には長安と
呼ばれる人がおった～

「高尾山とんとんむかし語り部の会」の代表吉田美江さんは、子どもたちに、八王子の町立てを企画した大久保長安の功績を残したい、そんな思いから、この本をまとめました。子どもたちにも理解しやすい絵本にしたことで、長安伝承が今よりもっと身近なものになりそうです。

『長安さまのまちづくり』

- ★1800円＋税
- ★A4判 ★28頁
- ★摇篮社刊
- ★問合せ先
摇篮舎 042-620-2615
吉田 042-635-5951



聞き書きで綴る 八王子の女性史

編集 八王子女性史サークル

～女性の暮らしから
八王子の歴史が見える！～

八王子の繁栄を築いた織物や農業、商業などを支えてきた女性たち。地域のさまざまな活動を担ってきた女性たち。これまで語り継がれることのなかった八王子の市井に生きる女性52人の貴重な話をまとめました。「八王子女性史年表」「資料」等も収録。

『聞き書きで綴る 八王子の女性史』

- ★1200円（送料別途）
- ★清水工房発行
- ★A4判 ★192頁
- ★申込み・問合せ先
八王子女性史サークル
TEL/FAX 042-625-8209

お知らせ

八王子市市民活動支援センターの **愛称**
ができました！！

NPOサポートと802 はちおうじ

より親しみやすい八王子市市民活動支援センターをめざし、業務内容が伝わりやすく、呼びやすい愛称として、「NPOサポート802（はちおうじ）」ができました。7月1日より、電話対応、ちらし、広報紙 SUPPORT802 など、さまざまな場面で使っていきます。

どうぞよろしくお願いたします。

スタッフコラム



広報部サポートスタッフ

町野雄嗣さん(まいぶれ八王子編集長)

私は、八王子の地域に関わる仕事をしています。市民活動支援センターとお付き合いが始まったのをきっかけに、この広報紙の作成を手伝うようになりました。ただ、八王子育ちながら、20代前半までは自分の育った地域にあまり興味関心がありませんでした。でも、地域で仕事を始めてから色々な人と出会い、思いがけない接点が増えて嬉しく思っています。最近では年齢のせいも、地元で何か還元したい気持ちが年々大きくなってきました。この紙面がより充実したものになるよう、尽力したいです。

助成金情報

詳しくは、八王子市市民活動支援センターにお問合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
あしたのまち・くらしづくり活動賞 レポート募集	公益財団法人あしたの日本を創る協会	地域活動の経験やアイデア	副賞 20万円	7/13(月)必着
プロ・ナトゥーラ・ファンド助成	公益財団法人自然保護助成基金	自然保護のための調査研究・活動	上限 100万円	7/15(水)消印有効
自動車購入費助成	公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団	障害者の福祉活動	上限 100万円	7/15(水)17:00必着
日野自動車グリーンファンド平成27年度助成事業	公益財団法人日野自動車グリーンファンド	自然環境保全	総額 750万円	7/31(金)消印有効
平成27年度上期助成	公益財団法人洲崎福祉財団	障害児者の自立と福祉向上	上限 200万円	7/31(金)消印有効
社会福祉助成事業	一般財団法人松翁会	社会福祉	上限 60万円	7/31(金)消印有効
第9回かめのり賞	公益財団法人かめのり財団	日本とアジア・オセアニアの若い世代交流	副賞 50万円	9/11(金)必着

あなたのアイデアを商品にする方法

～日常生活にはアイデアのヒントがいっぱい～

八王子アイデア発明研究会は、シニア世代の経験と知識を活かしたアイデア・発明を研究し、製品化することを目指して活動している団体です。日頃感じているお困りごとがアイデアの「もと」、みんなで話すことによってひらめきが生まれ、イメージが膨らみ、商品化への道が開くかも…?! しれません。

- ◆日時：7月15日(水)13:30～16:30
- ◆会場：八王子労政会館 第6会議室
- ◆講師：八王子アイデア発明研究会
- ◆参加費：無料
- ◆定員：20名



八王子に残る戦争遺跡を訪ねる
～浅川地下壕見学会～

浅川地下壕の保存をすすめる会は、浅川地下壕など八王子の戦争遺跡の調査・研究や保存のために活動している団体です。高尾駅の南に広がる東高尾山稜の地下には、終戦間際に中島飛行機武蔵製作所地下工場として使用された地下壕があります。解説を聞きながら地下壕を見学し、戦争の歴史を振り返ることで平和の大切さを実感します。

- ◆日時：8月29日(土)9:20～12:00
- ◆対象：小中学生とその保護者
- ◆集合場所：高尾駅南口 ◆定員：親子15組(申込先着順)
- ◆講師：浅川地下壕の保存をすすめる会 中田 均さん
- ◆参加費：1組500円(子ども1人追加の場合、プラス100円)
- ◆服装・持ち物：大型懐中電灯、軍手、帽子、上着、飲み物、長靴、汚れてもよい服装



NPO さぼーと802 (八王子市市民活動支援センター) までお申込みください。
★電話 / 042-646-1577 ★FAX / 042-646-1587
★メール / npo802@shiencenter-hachioji.org
※講師団体募集中!! アクティブ市民塾は、八王子市で活動しているNPOを、広く市民の方に知っていただくために、毎月1回開催しています。詳細は当センターまでお問合せください。

NPO・市民活動イベント情報 イベントの詳細については、各団体にお問合せ下さい。

イベント	月日	会場	内容	主催	申込先	備考
記念コンサート	7/10(金) 17:30-19:30	たましん RISURU ホール	若い演奏家がピアノ、バイオリン、オーボエ、音楽を披露	Music Delivery キラキラ星	TEL/FAX 042-656-7478 babi.130@ezweb.n e.jp (栗原・城座)	NPO 法人申請中 参加費 2,500円
プロ・ナチュラリスト 佐々木洋さんと行く 夏の高尾自然観察	7/19(日) 10:00-15:15	裏高尾 (日影沢 キャンプ場 周辺)	自然観察会 (昆虫観察や植物観察)	NPO 法人 森と人の ネットワーク	080-3430-3010 morijin.network@g mail.com	×切 7/5(日)
楽しく身につく ボランティア 養成講座	7/21(火) 13:30-15:30 原則月1回来年 3月まで	子安市民 センター	①絵手紙 ②リハビリ、ちぎり絵 ③健康音楽 ④簡単手芸(布・紙) 60歳以上で八王子市に在住の方、修了後ボランティア活動に参加できる方対象	八王子 センター元気	TEL/FAX 042-627-9179 center9179@nifty. com	×切 7/15(水) 初回にそれ以降の日程が確定します
第3回 笑いの集いイン 八王子	8/8(土) 13:30-16:00	北野市民 センター	真打落語家「三遊亭圓王」師匠を筆頭に社会人落語家2名並びに漫談家が出演	ユーモアスピー チの会八王子	TEL/FAX 042-663-0068 hs@tv-jp.net	参加費 1,000円
定例 英語ガイドツアー	8/16(日) 10:30-15:00	高尾山口駅 前集合	高尾山の主要ポイントを英語でガイド説明。日本人の方の参加も歓迎します。	TAKAO-SAN ENGLISH VOLUNTEER GUID CLUB TEL090-2910-1498 Komuro_hisa@yahoo.co.jp 小室		
第2回シニア元気 塾ボランティア 入門講座	9/10(木)- 10/26(月) 14:00-16:00	クリエイト ホール	仲間作りを通して、社会参画をし、自分の居場所をみつつける講座です。	八王子 センター元気	TEL/FAX 042-627-9179 center9179@nifty.com 横山	
稲刈り体験	9/13(日) 10:00-15:00	八王子戸吹 北緑地保全 地域	カマで稲を刈り束ねた後、稲を足踏み式脱穀機で脱穀(稲刈風で選り分ける)	戸吹北森を守る 会	TEL/FAX 042-628-3161 izu.e.c-inaba@ nifty.com 稲葉	参加費 500円 (保険代)
著作権に関する 相談セミナー	毎月第3水曜日 17:00より	八王子市市 民活動支援 センター (予定)	セミナーへは誰でも参加できます。著作権についての疑問等の相談も受けます。	NPO 法人 著作権推進 会議	042-636-4000 FAX 042-638-8031 info@copyright-np o.or.jp	著作権相談は 要予約
低炭素都市研究会	毎月最終金曜日 (原則) 18:00-20:00	八王子市市 民活動支援 センター (予定)	八王子を含む多摩地域における循環型社会の実現を目指すことを目的に多様な議論を行います。	一般財団法人 日本低炭素研 究協会	TEL/FAX 042-652-5969 taicho.kawaguchi@ gmail.com 川口	

ボランティア情報 ボランティアの詳細については、各団体にお問合せ下さい。

ボランティア	ボランティアの内容	団体名	連絡先
戸吹北森を守る会	森で遊び「自然を守る」自然が大好きな方、大募集! 活動は森の間伐、水田維持、自然観察、環境学習など 年会費 1,000円 ボランティア保険 300円～	戸吹北森を守る 会	TEL/FAX 042-628-3161 izu.e.c-inaba@nifty.com 稲葉
メイクボラン ティア 仲間募集	私も誰かの役に立ちたい・笑顔を届けるメイク・ボラン ティア。活動するための施術・心得を学ぶ講座も開催。 月2、3回参加できる方募集! 訪問先も受付中	ネバーランド	090-6502-9615 小西
MusicDelivery キラキラ星	学校・施設・会社等で演奏の場を増やしてテクニックを高めた い方 音大卒以上、営業・プロデューサー希望者	多摩音楽教育 事務所	TEL/FAX 042-656-7478

NPO さぼーと802 (はちおうじ) 八王子市市民活動支援センター
042-646-1577 FAX 042-646-1587
192-0083 八王子市旭町12番1号ファルマ802ビル5階

http://www.shiencenter-hachioji.org/
npo802@shiencenter-hachioji.org
開館時間 10時～21時(日・祝は17時まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
指定管理者 特定非営利活動法人八王子市民活動協議会